

説話のあとを歩く



総合距離 約3.0km 所要時間 約3時間40分

西陣地区を中心にさまざまな説話が残る社寺を訪ねます。コース中盤の上立売通は、昔ながらの「機屋建て」と呼ばれる機織の町家が残る雰囲気のある通り。説話と町家、西陣の歴史を堪能できるコースです。

スタート	ゴール
倉 観音寺 北野天満宮前 15分 すぐ	倉 大報恩寺(千本釈迦堂) 上七軒 30分 6分
開 北野天満宮 北野天満宮前 40分 すぐ	倉 石像寺(釘抜地蔵) 千本上立売 15分 すぐ
倉 浄土院 千本今出川 15分 1分	倉 雨宝院 今出川浄福寺 15分 4分
倉 大報恩寺(千本釈迦堂) 上七軒 30分 6分	倉 本隆寺 今出川浄福寺 20分 3分
倉 石像寺(釘抜地蔵) 千本上立売 15分 すぐ	開 首途八幡宮 今出川浄福寺 20分 すぐ
倉 雨宝院 今出川浄福寺 15分 4分	開 晴明神社 一条戻り橋 20分 3分
倉 本隆寺 今出川浄福寺 20分 3分	



上京 ききかじり

「紙屋川」の名の由来

北野天満宮の西側を流れる紙屋川。昔ここで紙を漉いていたことから、その名がつけました。平安時代に製紙工場の役割をしたところを紙屋院といい、北野天満宮の西あたりにありました。ここで良質な材料を使い、最高の紙を漉いていたのです。しかし政府の力が薄れていくにつれ、材料が集まらなくなっていきました。

それを解消するために行ったのが紙の再利用。しかし墨が残り薄黒く、そのため紙屋川で漉かれた紙は、薄墨紙、紙屋紙と呼ばれました。現在の紙屋川は姿を変え小さい川となっていますが、名前の中にその面影をひっそりと残しています。



(左上部分) 〇キリトリせん

茶の湯にゆかりの道



総合距離 約2.8km 所要時間 約3時間10分

上京区は茶道の家元が集中する、茶の湯にゆかりの深い土地。また、近世の日本画を代表する画家達がその技を競った場所でもあります。茶の湯にゆかりの茶器や茶庭、近世日本画を鑑賞できるコースです。

スタート	ゴール
合相国寺 烏丸今出川 6分 30分	合妙顯寺 堀川寺ノ内 4分 15分
表千家・不番菴 堀川寺ノ内 4分 5分	裏千家・今日庵 堀川寺ノ内 4分 5分
舎本法寺 堀川寺ノ内 1分 20分	茶道資料館 堀川寺ノ内 1分 20分
舎妙蓮寺 堀川寺ノ内 3分 20分	武者小路千家・官休庵 堀川今出川 3分 5分
樂焼 樂吉左衛門宅 堀川中立売 3分 5分	樂美術館 堀川中立売 3分 30分



茶の湯と名水の深い関係

京都に名水・名井ができたのは、茶の湯が発達した室町時代末期といわれています。上京には名水が数多くありますが、茶の湯をたしなむ公家や武士が居を構えたことも理由の一つ。秀吉が茶会で使ったという北野天満宮の「太閤井戸」もその名残でしょう。茶の湯といえば、上京には表・裏・武者小路、千家の家元が存在しています。以前小川という清流が流れていたため、家元が集まったようです。現在は埋め立てられていますが、その伏流水は健在です。特に裏千家の「梅の井」は茶の湯に最適の水とされ重宝されています。茶の湯とともに愛されてきた名水。この先も大切にしていきたいものです。



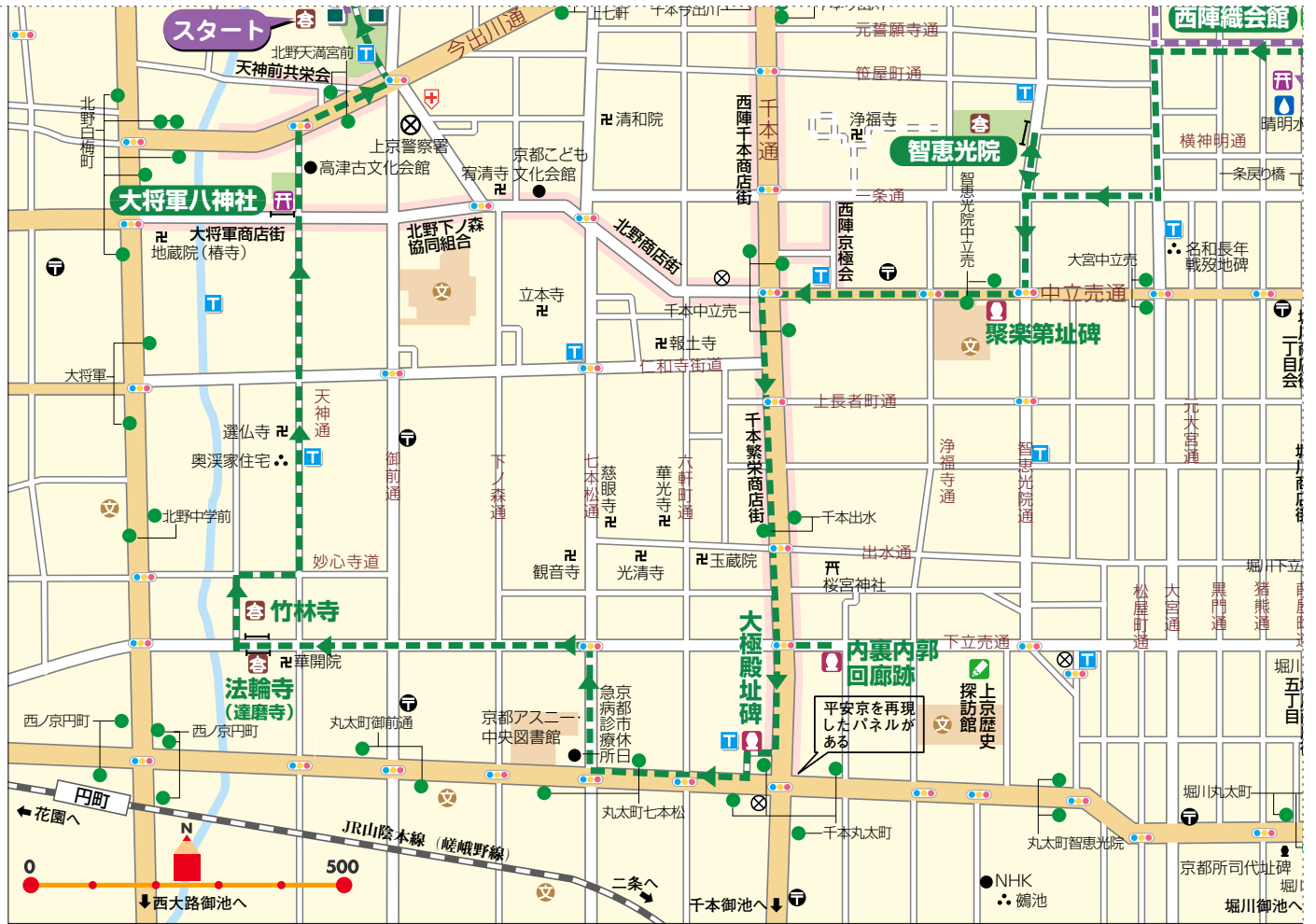


上京 ききかじり

伝統を今に伝える工芸品 西陣織

「西陣」の名は、応仁の乱のときに山名宗全率いる西軍が、この地に陣を置いたことに由来しているといわれています。

西陣での絹織物づくりは、その名がつく以前の平安時代から行われていました。その後、織田信長や豊臣秀吉の保護を受け、高度な渡来技術などを導入し、江戸前期には日本を代表する絹織物となったのです。伝統を守りながらも、幾度となく技術革新を繰り返してきた西陣織。現在においても生活様式の変化に対応し、これまでの伝統技術を継承しながら、新しい西陣織づくりが行われています。

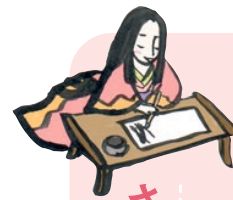


平安京(大内裏) 界わいを歩く

総合距離 約4.2km 所要時間 約3時間40分

平安京や聚楽第など、歴史的な遺構が残る南西部。一方で千本通の南側は、小さいけれども個性的な社寺が点在しています。上京区に刻まれてきた長い歴史に思いをはせながら、散策できるコースです。

スタート	西陣織会館	舎智恵光院	聚楽第址碑	内裏内郭回廊跡	大極殿址碑	舎法輪寺(達磨寺)	舎竹林寺	開大将軍八神社	舎御土居跡	ゴール
堀川今出川	堀川今出川	智恵光院中立売	智恵光院中立売	千本丸太町	千本丸太町	西ノ京円町	西ノ京円町	北野白梅町	北野天満宮前	堀川今出川
すぐ	700m 9分	300m 4分	600m 8分	300m 4分	900m 11分	150m 2分	950m 12分	300m 4分	300m 4分	すぐ
30分	20分	5分	5分	5分	15分	15分	30分	40分		



上京 ききかじり

さまざまな時代の文学碑

上京区には文学などに関係した碑や供養塔がよく見られます。梨木神社には『雨月物語』の著者上田秋成、石像寺（釘抜地蔵）には『百人一首』の藤原定家、引接寺（千本ゑんま堂）には紫式部…。そして意外に多いのが近代の碑。『ホトトギス』ゆかりの鈴鹿野風呂は妙顕寺に、同志社の創立者新島襄は同大学内に、日本で初めてノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹の歌碑は梨木神社にあります。平安時代から近代までに渡る文学碑。それらを訪ねながら、その時代や作品に思いをはせてみませんか。



京都御所(京都御苑) 周辺を歩く

総合距離 約2.6km 所要時間 約3時間40分
 平安時代を中心に、歴史と文学ゆかりの地をめぐります。華やかな宮廷文化が花開いた京都御所をとりまく京都御苑は、自然が豊かで季節ごとにさまざまな姿を見せてくれる散策にぴったりのコースです。

- | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|---|
| スタート
京都市歴史資料館
500m
6分
20分
3分 | 梨木神社
府立医大病院前
5分
15分 | 廬山寺
府立医大病院前
5分
30分 | 舎清浄華院
府立医大病院前
5分
15分 | 梨木神社(京都御苑)
烏丸丸太町
すぐ
20分 | 菅原院天満宮
烏丸下立売
すぐ
15分 | 護王神社
烏丸下長者町
すぐ
20分 | 室町幕府址碑
烏丸今出川
2分
5分 | 白峯神宮
堀川今出川
すぐ
15分 | ゴール
京都市考古資料館
今出川大宮
1分
30分 |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|---|